



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 組織情宣部
2023年10月26日 No.664

社員の努力に報いる期末手当を！

JR東日本の各地から 会社に対して不満の声があがる！

- ◆3.5ヶ月位なら十分出せるはず。会社は出せるのに出さない。頭にきます！
これだけ利用者も増えているのだから、しっかり出すべきだ。 (信越)
- ◆増収増益に転じているにも関わらず、期末手当が低い。会社は「1円でも多く稼ぐ」と言い「JRE MALL等の生活サービスの利用促進」を社員にも呼びかけているが、それを後押しするぐらいのボーナスが必要だ！ (関東)
- ◆新入社員の基本給を上げるのは賛成だが、ここまで施策を担ってきた私たちに何がある？苦労や努力に見合うボーナスが必要だ！ (東北)
- ◆年末手当3.5ヶ月が必要です。早く年間6ヶ月以上に戻って欲しい。昨年とは状況が違う。コロナも5類になり、お客さまも多くご利用している。これではモチベーションが下がる。MaaSもやっていて苦労している。苦労しているわりに夏季手当、年末手当に評価されていない。 (信越)
- ◆あれだけ頑張って黒字化を実現したのに、夏季手当で期待を裏切られたので、年末手当には期待している。 (関東)
- ◆年間6ヶ月欲しい！掲示板で東日本ユニオン3.5ヶ月要求を見た。3年我慢させられ続けたし、輸送状況もだいぶ回復している。いい加減、以前に戻って良いと思う。6ヶ月以上に戻すべきだ！ (信越)
- ◆乗務に加えて駅との兼務、委員会やPT活動、企画業務など一人ひとりの負担は確実に増え、一人あたりの生産性は間違いなく向上しているからコロナ前に戻っているのは当たり前。会社は社員の努力や苦労に報いるべきだ！ (関東)
- ◆儲かっているときにも、ボーナスを先行き不透明として抑えてきた。今、物価高により社員の生活は苦しい。こういうときにボーナスをコロナ前の水準に戻さないと駄目だ！ (信越)

要求実現に向け一緒に声を上げていこう！